

CASBEE® 京都-新築

標準システム

■使用評価マニュアル: CASBEE-京都-建築(新築)2018年版 | 使用評価ソフト: CASBEE-京都-新築2018 (v.1.0)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	東明テクノロジー株式会社 京都事業所建設工事	階数	地上4階
建設地	京都府京都市山科区鞍馬寺福原町2番,27番,271番,272番,273番,274番,275番,276番,297番,298-1,299-2	構造	S造
用途地域	準工業地域	平均居住人員	30 人
地域区分	6地域	年間使用時間	3,650 時間/年(想定値)
建物用途	事務所,工場,	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2020年8月 予定	評価の実施日	2018年9月11日
敷地面積	2,007.20 m ²	作成者	天津 一裕
建築面積	730.10 m ²	確認日	2018年4月1日
延床面積	2,356.87 m ²	確認者	天津 一裕



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 0.9 ★★★★★

環境品質 G vs 環境負荷 L

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値 100%
②建築物の取組み 84%
③上記+②以外の 82%
④上記+ 82%

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

Q2 サービス性能: 5
Q1 室内環境: 3
Q3 室外環境(敷地内): 3
LR1 エネルギー: 3
LR2 資源・マテリアル: 3
LR3 敷地外環境: 3

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q のスコア = 2.5

Q1 室内環境

Q1のスコア= 2.4

Q2 サービス性能

Q2のスコア= 2.7

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア= 2.5

LR のスコア = 3.3

LR1 エネルギー

LR1のスコア= 3.2

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア= 3.5

LR3 敷地外環境

LR3のスコア= 3.0

3 設計上の配慮事項		
総合		その他
天井高を2.7m確保し、取り入れ外気への工夫をすることで、室内環境に配慮した計画としている。また、省水型機器の選定、リサイクル材を使用し環境へも配慮している。		
Q1 室内環境	Q2 サービス性能	Q3 室外環境(敷地内)
屋光利用設備を採用 取り入れ口は排気口と異なる方位、かつ6m以上離れて設置	天井高2.7m リフレッシュスペースが執務スペースの1%以上	植栽により、良好な景観を形成している
LR1 エネルギー	LR2 資源・マテリアル	LR3 敷地外環境
	節水コマなどに加えて、省水型機器などを用いている 発泡剤を用いた断熱材等を使用していない	

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される